

古典文学史・和歌これだけ100

迷ったら、まずこの100個。

直前期に、いちばん短時間で点が増えるところです。

使い方 右の空欄に答えだけ書きます。1問10秒。

全部で100問。第1章だけでも、まず一周してください。

この100個の選び方 誰でも古典塾の無料ドリルから、入試・定期テストで実際によく問われる形だけを選び直しました。

文学史 作者を答えよ。

1 『新古今和歌集』

時代を答えよ。

2 『宇津保物語』

時代を答えよ。

3 『風姿花伝』

時代を答えよ。

4 『紫式部日記』

5 『今昔物語集』

時代を答えよ。

6 『好色一代男』

7 『曾根崎心中』

8 『野ざらし紀行』

時代を答えよ。

9 『枕草子』

10 『土佐日記』

11 『徒然草』

12 『方丈記』

13 『古今和歌集』

14 『奥の細道』

15 『蜻蛉日記』

16 『雨月物語』

17 『更級日記』

18 『和泉式部日記』

19 「いづれの御時にか、女御・更衣あまたさぶらひたまひける中に…」

冒頭文の作品名を答えよ。

20 「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは…」

冒頭文の作品名を答えよ。

21 「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず…」

冒頭文の作品名を答えよ。

22 「つれづれなるままに、日くらし硯に向ひて…」

冒頭文の作品名を答えよ。

23 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり…」

冒頭文の作品名を答えよ。

24 「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。」

冒頭文の作品名を答えよ。

25 「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。」

冒頭文の作品名を答えよ。

26 「昔、男ありけり。」

冒頭文の作品名を答えよ。

27 『大鏡』

作品のジャンルを答えよ。

28 『今昔物語集』

作品のジャンルを答えよ。

29 『風姿花伝』

作品のジャンルを答えよ。

30 『南総里見八犬伝』

作品のジャンルを答えよ。

31 『東海道中膝栗毛』

作品のジャンルを答えよ。

32 『十六夜日記』

33 『山家集』

34 『金槐和歌集』

和歌の修辞 修辞法を答えよ。

- 35 見渡せば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮
- 36 しろたへの衣干したり…
- 37 ひさかたの光のどけき春の日に…
- 38 夢と知りせば覚めざらましを
- 39 由良のとを渡る舟人かぢをたえゆくへも知らぬ恋の道かな
- 40 山桜霞のまよりほのかにも見てし人こそ恋しかりけれ
- 41 もろともにあはれと思へ山桜花よりほかに知る人もなし
- 42 嵐吹くみむろの山のもみぢ葉は龍田の川の錦なりけり
- 43 あしひきの山鳥の尾の…
- 44 たらちねの母…
- 45 くさまくら旅にしあれば…
- 46 ちはやぶる神代もきかず竜田川…
- 47 風吹けば沖つしらなみたつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ
- 48 花の色はうつりにけりないたづらに我が身世にふるながめせし間に
- 49 あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな
- 50 あらたまの年の暮れになりにけり…
- 51 あをによし奈良の都は…
- 52 わかくさの妻…
- 53 めばたまの黒髪…
- 54 名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしや
- 55 たまきはる命を…
- 56 散りぬともかねてぞ惜しき紅葉葉
- 57 月やあらぬ春や昔の春ならぬ我が身ひとつはもとの身にして
- 58 桜散る木のしたかぜは寒からでそらに知られぬ雪ぞふりける
- 59 あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る
- 60 からごろも着つつなれにし妻しあれば…
- 61 あづさゆみ春の山辺を越え来れば…
- 62 み吉野の山の白雪つもるらしふるさとさむくなりまさるなり

63 立ちわかれいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む

64 大江山いく野の道の遠ければまだふみもみず天の橋立

65 風そよぐならの小川の夕暮れはみそぎぞ夏のしるしなりける

66 君がため春の野に出でて若菜つむ我が衣手に雪は降りつつ

67 立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む

68 来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに焼くやもしほの身もこがれつつ

和歌の総合

- 69 「勅撰和歌集」とはどのような歌集か。
ア 個人が私的に編んだ歌集 / イ 天皇や上皇の命令で編まれた歌集 / ウ 寺院が編んだ經典 / エ 中国の詩集
- 70 古今和歌集の中心的な撰者は誰か。
ア 藤原定家 / イ 大伴家持 / ウ 紀貫之 / エ 後鳥羽院
- 71 新古今和歌集が成立した時代はいつか。
ア 奈良時代 / イ 平安時代初期 / ウ 江戸時代 / エ 鎌倉時代初期
- 72 現存する日本最古の歌集はどれか。
ア 万葉集 / イ 古今和歌集 / ウ 新古今和歌集 / エ 拾遺和歌集
- 73 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。奥山に／紅葉踏み分け／鳴く鹿の／声聞く時ぞ／秋は悲しき
ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れなし（途中で切れない）
- 74 「六歌仙」に数えられる歌人はどれか。
ア 藤原定家 / イ 在原業平 / ウ 紀貫之 / エ 山部赤人
- 75 短歌の音数として正しいものはどれか。
ア 五・七・五の十七音 / イ 五・七・七・五・七・七 / ウ 五・七・五・七・七の三十一音 / エ 七・七・七・五
- 76 和歌の五句を順に何と呼ぶか。
ア 起句・承句・転句・結句・余句 / イ 首・頷・頸・尾・余 / ウ 上・中・下・左・右 / エ 初句・二句・三句・四句・結句
- 77 万葉集に多く見られる歌風（調子）はどれか。
ア 五七調で素朴・力強い / イ 七五調で優美 / ウ 技巧的で幽玄 / エ 風刺的
- 78 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。天の原／ふりさけ見れば／春日なる／三笠の山に／出でし月かも
ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れなし（途中で切れない）
- 79 最初の勅撰和歌集はどれか。
ア 万葉集 / イ 古今和歌集 / ウ 新古今和歌集 / エ 後撰和歌集
- 80 「三大歌集」に含まれないものはどれか。
ア 万葉集 / イ 古今和歌集 / ウ 拾遺和歌集 / エ 新古今和歌集
- 81 「三十六歌仙」を選んだとされる人物は誰か。
ア 紀貫之 / イ 藤原定家 / ウ 後鳥羽院 / エ 藤原公任
- 82 新古今和歌集の特徴として正しいものはどれか。

83 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。秋の田の／かりほの庵の／
苫をあらみ／わが衣手は／露にぬれつつ

ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三
句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れな
し（途中で切れない）

84 新古今和歌集の編纂を命じた人物は誰か。

ア 醍醐天皇 / イ 後鳥羽院 / ウ 桓武天皇 / エ 後白河院

85 「六歌仙」に数えられる女性歌人は誰か。

ア 紫式部 / イ 和泉式部 / ウ 小野小町 / エ 清少納言

86 万葉集の編纂に深く関わったとされる歌人は誰か。

ア 紀貫之 / イ 藤原定家 / ウ 西行 / エ 大伴家持

87 古今和歌集の序文「仮名序」を書いたのは誰か。

ア 紀貫之 / イ 紀友則 / ウ 凡河内躬恒 / エ 壬生忠岑

88 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。白露に／風の吹きしく／秋
の野は／つらぬきとめぬ／玉ぞ散りける

ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三
句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れな
し（途中で切れない）

89 古今和歌集が成立したおおよその時代はどれか。

ア 奈良時代 / イ 平安時代初期 / ウ 鎌倉時代 / エ 室町時代

90 「長歌」の形式として正しいものはどれか。

ア 五・七・五・七・七の一首 / イ 五・七・七・五・七・七 / ウ 五・七を
繰り返し、最後を七・七で結ぶ / エ 五・七・五の十七音

91 古今和歌集の歌風（調子）として最も適切なものはどれか。

ア 五七調で素朴・力強い / イ 字余りが多く破調 / ウ 俳諧的でこっけい /
エ 七五調で優美・理知的

92 和歌の「上句（かみのく）」が指すのはどこか。

ア 初句・二句・三句（五七五） / イ 四句・結句（七七） / ウ 初句だけ /
エ 結句だけ

93 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。夏の夜は／まだ宵ながら／
明けぬるを／雲のいづこに／月宿るらむ

ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三
句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れな
し（途中で切れない）

94 和歌の「下句（しものく）」が指すのはどこか。

ア 初句・二句・三句（五七五） / イ 四句・結句（七七） / ウ 結句だけ /
エ 初句だけ

95 和歌の修辞法「枕詞」の説明として正しいものを、ア～エから選
べ。

ア ある語を導くために置く、比較的長い（七音以上）前置きの言葉。ふつう
訳す / イ 一つの語に、同音の二つの意味を持たせる技法 / ウ 特定の語を導

く、ふつう五音の修飾語。それ自体は訳さないことが多い / エ 一首の中に、意味の上で関連する語を意図的に散りばめる技法

96 「旋頭歌（せどうか）」の音数として正しいものはどれか。

ア 五・七・五・七・七 / イ 五・七・五 / ウ 七・七・七・五 / エ 五・七・七・五・七・七

97 「歌聖」と呼ばれ、万葉集を代表する歌人はどれか。

ア 柿本人麻呂 / イ 藤原定家 / ウ 紀貫之 / エ 後鳥羽院

98 次の和歌の句切れを、ア～オから選べ。田子の浦に／うち出でて見れば／白妙の／富士の高嶺に／雪は降りつつ

ア 初句切れ（第一句で切れる） / イ 二句切れ（第二句で切れる） / ウ 三句切れ（第三句で切れる） / エ 四句切れ（第四句で切れる） / オ 句切れなし（途中で切れない）

99 「土佐日記」の作者で、古今集の撰者でもあるのは誰か。

ア 紀友則 / イ 紀貫之 / ウ 在原業平 / エ 清少納言

100 枕詞「ひさかたの」が導く語として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 山・峰 / イ 母・親 / ウ 光・天・月・空 / エ 夜・黒・闇
